アカシア俳句会

夏季俳句会（令和三年六月）「句報」（兼題：新緑ほか子季語含む）選句結果

「選句」赤文字：特選

「投句」作品　　作者

早乙女の秋田小町に一目惚れ　戸堂博之
荒野にも新緑ありて鳥宿る　戸堂博之
そそり立蟻の門渡り山開き　戸堂博之
克志　脇道や思わぬ出会い水芭蕉　戸堂博之
敏福秀　雨宿り雷光一閃生き地獄　戸堂博之

崎博　母の日や手作りマスク便り添へ　加龍恵子
緑さし影を揺らせて欅道　加龍恵子
敏博　ニセアカシアちぎり占ひ幼き日　加龍恵子
徳崎　マスク越し密かに香りレモン花　加龍恵子
紫陽花や独り居癒す雨の音　加龍恵子

コロナ禍に腰を痛めて家居かな　本多通博
雀蛤にさて自撮り棒をどうするか　本多通博
山の湯の麓あたりは大緑陰　本多通博
永　百八つ嘘ついて後の祭りかな　本多通博
青蛙三回跳ねてはひと休み　本多通博
永展

ねじ花をしゃがみ見ている子等ふたり　吉澤志保子
以訓　ベランダにぶらさがりをりちさき鯉　吉澤志保子
こんにちは代わりの言葉はワクチンは？　吉澤志保子
崎福　差し入れの娘のバラ寿司梅雨晴れ間　吉澤志保子
克秀　梅雨空に所在もなくて句をひねり　吉澤　志保子
圭

夏場所に貴婦人凛と日々正座　都　福仁
圭以多　五月雨や熊野古道の石畳　都　福仁
バラ園で妻とブランチ今日も暇　都　福仁
新緑も緊急事態巣ごもりに　都　福仁
通　緑さす支笏湖畔のチップ釣り　都　福仁

福由恵　門辺掃く院長先生夏立ちぬ　佐藤多恵子
人の世に万緑の御陵沈黙す　佐藤多恵子
フェニックスの幹にやどり木緑増す　佐藤多恵子
展亘恵　病院の二棟貫く梅雨の廊　佐藤多恵子
佑　花樗烟るがごとく香を流す　佐藤多恵子

克訓　新緑や澄みて流るる桂川　中野陽典
老後又かくて二人や柏餅　中野陽典
鯉幟川幅広き場所なれど　中野陽典
敏多恵　良縁の朗報を聞く桐の花　中野陽典
永　雨蛙郵便箱の中にかな　中野陽典

通　「みちおしへ」共に参道尽きるまで　中野亘子
多由志秀　一山を波涛と化して青嵐　中野亘子
以由志　終戦忌彼の日の青き空想ふ　中野亘子
雷鳴は真近になりぬ朱の御堂　中野亘子
5月晴れコロナを避けて家ごもり　中野亘子

訓　万緑の窓辺以登さんの句集よむ　山家由紀
克　想像も出来ぬ宇宙の広さ蕗をむく　山家由紀
新緑の東名御殿場富士見えず　山家由紀
ひと泳ぎしてひと休み初夏の富士　山家由紀
友・家族無事を寿ぎビール干す　山家由紀

佑圭　たんぽぽと同じ色の目土手の猫　富岡訓子
佑以　鯉のぼり踊る兄の画逝くななつ　富岡訓子
蔦のびて廃屋の窓友遠く　富岡訓子
博　閉園と決まりしバラよ競ひ咲く　富岡訓子
万緑や樹々いのち満ち森深く　富岡訓子

多茂通志　涼しさや木の香こよなき下駄工房　田村登代子
由秀　えごの花咲きて小暗き並木道　田村登代子
圭訓福　風鈴をテントに吊るし陶器市　田村登代子
亘　雨まじる風に弾みて濃紫陽花　田村登代子
茂亘通　草庵の庭に十薬湧くごとし　田村登代子

＜協賛特別参加＞

恵　新緑の我家覆ひて枝払ふ　網佑子
パラ泳界腕無き若の夢イルカ　網佑子
母の日の可憐な乾花御守りに　網佑子
茂亘　母の日や日々が母の日唯感謝　網佑子
訪ひし初夏師亡く淋しむ著書熱し　網佑子

佑崎　葉が光る大きな楠木衣更え　佐藤茂弘
亘志　枯蓮の水中新芽顔を出す　佐藤茂弘
　　紛れてる豌豆花に小さき蝶　佐藤茂弘
　　伊吹見ゆ虹片足は湖の中　佐藤茂弘
　　白桜忌歌碑照り返す千種森　佐藤茂弘

佑多訓通秀　馬頭観音拝す新緑香る中　吉田以登
　　新緑の木々高々と水戸の街　吉田以登
展　老若の青草の野に合唱す　吉田以登
　　うららかや腰痛き日は娘を頼り　吉田以登
永徳　ひなげしや風と遊びて首を振り　吉田以登

崎　空の青緑さす野に鳥の声　野本展子
　　橋に立ち川流れゆき風薫る　野本展子
敏　月見草月はなくとも光りおり　野本展子
徳圭　雨風にかたつむりさえ石の下　野本展子
敏茂恵　夏草や遠い記憶の匂ひ立つ　野本展子

徳展由　新緑の覆う留守宅また温し　西村敏治
　　新緑を難聴の我より深む　西村敏治
　　新緑もワクチンすませ小休止　西村敏治
　　余裕なき今招くのかオリパラを　西村敏治
博　五輪祭医療破綻の今厳し　西村敏治

克徳展以福　新緑に老ひも連れ立ち薄化粧　前田秀一
博　せせらぎにカメラ砲列若葉風　前田秀一
　　コロナ禍や無言の目線花アカシア　前田秀一
永茂　葉隠れに梅の実一つ二つ三つ　前田秀一
　　筍や宵越しの飯妻笑ふ　前田秀一

投句、選句者氏名　（　）内は選句者略号（五十音順）

網　佑子（佑）、井狩　修（修）、岩崎悦子（崎）岩壺克哉（克）、加龍惠子（恵）楠野圭子（圭）、
小松康子（康）、斎藤優子（優）、佐藤多恵子（多）、佐藤茂弘（茂）、戸堂博之（博）、富岡訓子（訓）、
中野亘子（亘）、中野陽典（陽）、西村敏治（敏）、野本展子（展）、本多通博（通）、前田秀一（秀）、
三木徳彦（徳）、都　福仁（福）、宮本智乃（智）、元永悦子（永）、山家由紀（由）、吉澤志保子（志）、
吉田以登（以）

編集人　前田秀一